

URAWA REDS 3.0

提言書

2023年11月27日

一般社団法人 浦和レッズ後援会

会長 清水 勇人
理事長 田中 泰三

「浦和レッズが世界一のクラブに成るために」

今後20年を見据えたクラブへの協力依頼及び提言

第1 はじめに

1993年に「オリジナル10」として、10クラブでスタートしたJリーグも全国41都道府県60クラブの加盟クラブを数えるようになりました。地域密着を標榜してスタートし、日本のプロスポーツ界に大きな影響を与えてきた一方で、近年は大型資本がクラブ経営に参画する機会も増え、クラブ経営の在り方にも環境変化が起こっています。

また、Jリーグが開幕して30年、1993年2月に設立した「レッドダイヤモンド後援会」も任意団体から「一般社団法人 浦和レッズ後援会」となり、その目的も「浦和レッドダイヤモンドが、世界一のクラブと成るための支援」と「スポーツを通したまちづくり・人づくり」と変革してきました。

本年、30周年記念事業の一環として「Jリーグ百年構想」の折り返し地点にあたる20年後の「浦和レッズの未来像」を考える記念セミナーを行い、全5回に亘って様々な専門的な知見を持つ各立場のゲストをお招きし、20年後の浦和レッズはどうあるべきか？について議論を深めました。

わが浦和レッズは、史上最多の3度のアジアチャンピオンクラブであり、まさにアジアを代表するクラブとなっています。今後はピッチ上の成果のみならず、日本を代表するクラブの象徴として、国内外で存在感を放つことへの期待を背負っている状況です。その使命を果たす為には、クラブ経営の基盤となる地域の力を結集していかなければならないと考えております。

当後援会として、20年後の浦和レッズのあるべき姿を「URAWA REDS 3.0」と位置付け、二つの提言を行います。

回	年月日	参加者数	演題	ゲスト(敬称略)	登壇者からのアドバイス
第1回	R5.2.6	307名	地域に愛されるクラブの形	祖母井秀隆	understand に立つ、地域の課題を解決するリーダーになるべき
第2回	R5.4.16	120名	(第1部)メディアから見た浦和レッズの影響力	(1)勝村政信 (2)水沼貴史	(1)レッズのサポーターは日本一。浦和はサッカー王国で在り続けなければならない (2)みんなが憧れるようなスタイルでスタジアムの空気を創り出すべき
			(第2部)欧州事例にみるクラブ経営への参画手法	(1)谷塚哲 (2)釜崎太	(1)サポーターがいざとなった時にクラブを助ける”ホホワイトナイト”になれる仕組みを (2)ドイツクラブのように地域の声を聞く仕組みで日本のサッカー文化の熟成に貢献を
第3回	R5.7.7	90名	WEリーグ高田チェアと考える女子サッカー躍進のカギ	(1)高田春奈 (2)安藤梢	(1)浦和レッズレディースの躍進は女子サッカーの存在感を大きくし、日本社会にとっても好影響を与えられる (2)9万人超の観客を集めるバルサ女子戦。日本の女子チームで達成できるクラブは浦和レッズレディースでありたい
第4回	R5.8.24	49名	活躍し続ける選手の共通点と育成年代に大切なこと	(1)山口隆文 (2)都並敏史	(1)地域の人々が求める強くて面白いサッカーを確立すべき (2)クリーンで魅力的な最高のサッカー観戦機会を守ることはトップクラブである浦和レッズの使命
第5回	R5.11.7	153名	地域を豊かにする仲間づくり、サッカーの街の未来	(1)岡野雅行 (2)岩本義弘	(1)浦和レッズのファンはみんなが営業マンクラブと一緒になればバルセロナのようなクラブに (2)アイデンティティが大事。 サッカークラブ以上の存在になるよう舵を切るべき

<設立30周年記念事業セミナー開催実績>

第2 「URAWA REDS 3.0」提言

「URAWA REDS 3.0」という呼称に込めた想い

「はじめに」であったように、「オリジナル 10」としてスタートした我がクラブは史上最多3度のアジアチャンピオンクラブとなっており、クラブ創設から現在に至るまで大きな進化を遂げてきました。

また、Jリーグ発足からの30年は、日本サッカー界が短期間で劇的な進化を遂げた時代でもあり、世界的にも注目を浴びる機会が増えてきている一方で、その進化を俯瞰で捉える意味で他産業に視線を向けてみると、近年世界の経済成長をけん引してきた「GAFAM」と呼ばれる巨大IT企業を中心としたインターネット市場では、「ブロックチェーン」という技術革新と共にWEB3.0の時代に突入し、「MATANA」へとその在り方をアップデートしている真ただ中にあります。

これから先、浦和レッズが世界一のクラブを目指していくにあたって、見過ごすことはできない時代のうねりであり、クラブとしても「Jリーグ百年構想」の中間地点となる20年後を見据え変革が求められる時代に差し掛かっていると捉えています。

偉大な先人たちが築き上げてきたJリーグ開幕前の三菱自動車工業サッカー部時代を浦和レッズ1.0とし、「オリジナル 10」としてスタートしたJリーグ開幕から、史上最多の3度のアジアチャンピオンクラブとなるに至った30年を浦和レッズ2.0とするならば、この先のクラブ運営は「URAWA REDS 3.0」と位置付け、特定の誰かがコンテンツを管理し、情報発信する中央集権型のクラブ運営でなく、クラブに関わるステークホルダーそれぞれが責任を持ち、コンテンツを分散管理していく、まさに「WEB3.0」のような次世代型クラブ運営をおこない、名実ともに世界一のサッカークラブへと歩みを進める変革を行っていくことを、「URAWA REDS 3.0」という呼称に込めています。

【提言①】

URAWA REDS オープンイノベーション 始動 ～“ひらかれた場所で議論できる機会を～

浦和レッズが私たちの誇りで在り続ける為に。

浦和レッズが使命を果たす為の議論をもっとひらかれた場所で。

株主・パートナー・自治体・ファン・サポーター・メディア・後援会など、浦和レッズが使命を果たすために継続的に議論し続ける機会の創出を提言します。

仮称)URAWA REDS 3.0 カンファレンス

【提言②】

URAWA REDS プラットフォーム戦略 ～クラブを支援する基金の創設～

浦和レッズが名実共に世界で戦う日本を代表するクラブとなる為に。

日本初となる、浦和レッズを拠出先としたプラットフォーム開発を提言します。

世界一のサッカークラブとなるための支援及び継続的なクラブ支援のために必要となる資金を拠出する基金として、「URAWA REDS 3.0 CLUB(仮称)」(以下「基金」という。)の創設を提言します。

基金の設立主体については、本基金が最も合理的かつ効果的な活用ができるよう本会及びクラブの間において検討を行うもの。

基金の拠出は、以下(1)～(3)の方法を検討するものとします。

- (1) 新規会員制度 (個人会員)1万円 (法人会員)30万円
- (2) ふるさと納税
- (3) クラウドファンディング

基金の活用にあたっては、主として上記提言の内容に沿うものとし、本会とクラブの間において協議し、最も合理的かつ効果的な活用が図られるよう調整を行うものとする。

私たちの資本を結集し、世界で戦うクラブを少数株主として資本で支えるプラットフォームの創設を目指します。